

スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業

(前年度予算額 65,456千円)
令和3年度予算額 164,927千円



地方自治体、スポーツ団体、民間企業（スポーツ産業、観光産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション（地域SC）」の設立から自走化までの流れを支援し、取組の横展開を図ることにより、スポーツによる地域活性化を推進する。

- ① 設立支援**…ホストタウン等の官民連携横断的な組織を地域SCに発展させるため、関係者合意形成や基本計画の策定等の活動を支援
- ② 自立支援**…コロナ禍における活動再開、新たな事業計画の策定、自走化に向けた経営体制強化を図る積極的な活動を支援
- ③ 総合コンサルティング**…補助効果の最大化を図るため、①②の採択先に対し、専門的知見を有する事業者から、各種計画策定や事業実施に関する助言・協力・提言等を行うとともに、事業成果や課題・対応策等の考察を含めた報告書を作成

「東京2020オリパラ大会」

ホストタウン登録された地方公共団体や「東京2020参画プログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

ホストタウン等

合意形成、基本計画の策定（改定）等の取組を支援。

設立支援

コンサル



スポーツ庁

自立支援

設立支援

コンサル

実行委員会等

合意形成、基本計画の策定（改定）等の取組を支援。

「WMG2021関西大会」

事前合宿や「TSUNAGUプログラム」に登録された取組等を行う組織を地域スポーツコミッションに発展させるための体制整備を支援。

新型コロナウイルス対策

長期継続的な人的交流を図る「スポーツ合宿・キャンプの誘致」



写真提供：佐賀県
写真提供：佐賀県



写真提供：網走市
写真提供：網走市

地域の気候・環境・施設等を活用

コロナ禍における自走化に向けた事業計画の策定

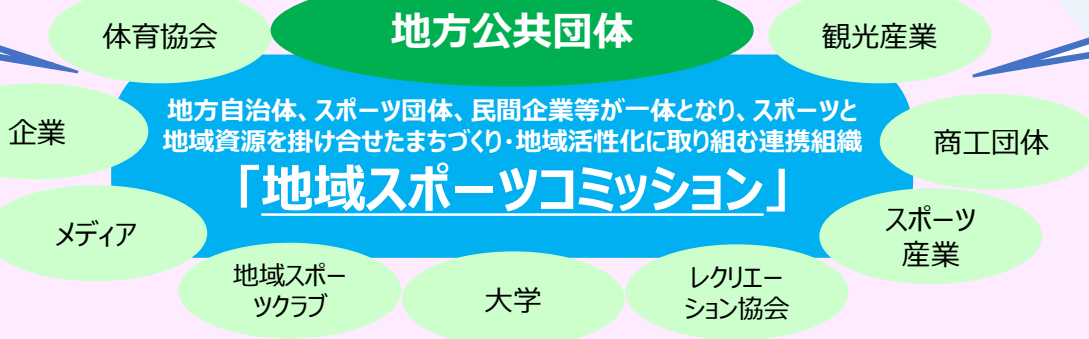
恒常的なスポーツ誘客が可能な「通期・通年型スポーツアクティビティの創出」



写真提供：みなかみ町

写真提供：宮崎県

アウトドアスポーツや武道等を活用



第2期スポーツ基本計画で掲げる、地域スポーツコミッションの設置数目標
56団体（2017年1月） → 159団体（2020年10月） → 170団体（2021年度末目標）

【地域への社会的効果】

- スポーツのまちとしてのアウトターブランディング、
- ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- 地域スポーツ人口・関心層の拡大
- 季節・年間を通じての誘客による、従事者の雇用安定

スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化へ

創出された優良事例を、全国へ横展開

【地域への経済効果】

- 合宿参加者・スポーツツーリストの滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- スポーツアクティビティの参加料収入